

# 持続可能な開発目標（S D G s）推進本部 第16回会合 総理御発言

- 本日、日本のS D G s達成に向けた進捗をまとめた3回目となる「自発的国家レビュー」報告書をS D G s推進本部として決定しました。
- 國際社会は複合的危機に直面し、2030年までのS D G s達成は大きな困難に直面しています。
- こうした中、「人間の安全保障」の理念の下、人間の尊厳が守られる世界を実現すべく、我が国を含む國際社会全体が、S D G s達成に向けた努力を加速していく必要があります。
- 今回の報告書では、少子高齢化、地方創生、防災といった社會課題への取組を紹介しつつ、課題先進国として、社會課題の解決を成長のエンジンに転換させ、持続可能な經濟・社會システムを構築する決意を示しています。日本は、ぶれることなくS D G s達成に向けた取組を進めます。
- 現在開催中の大阪・関西万博は、S D G sやウェルビーイングが実現された世界を考えるヒントを得る絶好の機会です。2年後にはGREEN EXPO 2027も控えています。こうした國際行事を契機として、世界の人々の英知を集約し、S D G s達成に向けて國際社会との連携を強化していきます。

●関係閣僚におかれては、今回の「自発的国家レビュー」報告書にとりまとめた取組や課題を踏まえ、あらゆる関係者との協力を深めながら、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた取組を一層加速していくよう、よろしくお願ひします。

(了)